

文化財の種別	有形文化財	文化財の部門	歴史資料
文化財の名称	せきせいにこまいぬ 石製狛犬	員数	1対
概要	<p>材質：石（火山礫凝灰岩〔笏谷石〕）</p> <p>法量：阿形 高さ 45 cm 幅 18.00 cm 奥行 44 cm 咩形 高さ 44 cm 幅 19.05 cm 奥行 45 cm</p> <p>製作年代：16 世紀半ばから後半（天正年間〔西暦 1556～1590 年〕を下限とする）</p> <p>○概要</p> <p>本狛犬は、長方形の台座上に一石彫成された、身体と頭部のバランスが良い作品で、阿咩 2 体 1 対、石質は福井県旧足羽郡社村（福井市）産の火山礫凝灰岩（通称<small>しやくたにいし</small>笏谷石）です。たてがみは後方へ垂れ下がる 2 段の巻毛で、前肢付け根に旋毛があり、尾は 3 房あります。本狛犬は風蝕等により摩滅が見られるものの、市内の笏谷石製の狛犬は、現在のところ松ヶ崎八幡神社及び本荘八幡神社に所在するのみとなっています。</p> <p>県指定文化財の笏谷石製狛犬には、男鹿市赤神社（室町時代末期）、秋田市藤倉神社（16 世紀後半）、松ヶ崎八幡神社（16 世紀末～17 世紀初頭）、秋田市金刀比羅神社（17 世紀前半）がありますが、本狛犬は、たてがみが後方へ垂れ下がる 2 段の巻毛であることから、中世に製作されたものであることが明らかであり、県内でも古いものです。</p> <p>近世半ばに西回り航路が整備され、北前船の運行が主流となる以前の北国船やハガセ船で笏谷石が運ばれたことを示すものであり、本市中世の日本海海運を実証できる歴史資料です。また、笏谷石の搬送湊である北陸（越前三国湊）と本荘の商船往来による交易を知ることができる歴史資料としても、貴重なものです。</p>		
所在地	由利本荘市谷地町 5 0 （八幡神社境内 句須志神社）		



吽形（上段・下段）

阿形（上段・下段）